



携帯電話やモバイル端末向けに
特化したソフト開発を進める

岩波裕之社長

（12年9月期）

検索 個性派企業

ロックウェーブ

ソフト開発のロックウェーブ（大津市）は電子商取引（EC）の導入を支援する商品を手掛ける。携帯電話やモバイル端末向けに特化したのが特徴で、常にユーザーの使いやすさを優先する。

今年3月、中小企業が簡単に自社製品をネット販売できる支援ソフト「aiship R」を開発し、提供を始めた。商品掲載や決済、販売状況や顧客管理などの必要な機能を盛り込んだ。

最大のポイントは利用者が使う携帯電話などの端末に応じて、画面レイアウトを自動的に変更することだ。「表示に時間がかかり、閲覧しにくいレイアウトでは商品を買う気がなくなってしまう」（岩波裕之社長）というユーザーの視点に立った。

岩波社長はトヨタ自動車とセブン-イレブン・ジャパンで勤務経験を持つ。商取引を支援するビジネスに興味を持

《会社概要》

■ 本社 || 大津市
■ 従業員 || 18人
■ 創業 || 2004年
■ 売上高 || 約2億円

（12年9月期）

ち、創業した。「自分たちが

欲しいモノ、あつたらしいな
と思うモノを考え、それを実
現するソフトを開発する」。
限られた回線容量でも大量の
画像情報を送る技術などを確
立し、様々な支援ソフトを出
してきました。

開発担当の人材が重要なこと
が重要で、技術は後からでも
身に付けられる」とみる。実

際にミュージシャンから転職
し、5年で一線級のプログラ
マーに成長した社員もいる。

インターンシップ制度を設
け、京滋地区の意欲ある学生
も受け入れる。ソフト技術を
教えながら、開発部隊の戦力
としても活用する。インター
ンシップ経験者の半数ほどが
アルバイトとして勤務した
り、入社したりする。

ネット環境が整っていれば
開発はどこでもできると、岩
波社長の出身地である滋賀県
に拠点を置く。社員の平均年
齢は28歳。「ユーザー視点を
持ち続けるため、モバイルを
使いこなせる若い世代を採用
し続けたい」という。モバイ
ルECを巡る挑戦が始まっている。

（12年9月期）

II 随時掲載